

伊丹市議会議員 おおつる 求の活動報告

みんなちがって、
みんないい保護者・関係者置き去りの公立幼稚園統廃合・再編計画案に
公立保育所も加え“認定こども園”を検討、という市の暴走

6月議会は、4月に無投票当選を果たした藤原市長の公約に、各議員の質問が集中しました。

最重要施策「幼児教育の無償化」は、1学年当たり約2.5億円と試算しており、その財源は公立幼稚園等の統廃合や用地売却等で確保するとの事。同時に公立保育所の課題「老朽化」も解決すべく“認定こども園”として再編することも検討中、という驚きの答弁が飛び出し、急きょ内容を差替えて質問しました。

市は7月に具体的再編策を公表し、パブリックコメントを実施、10月に始まる幼稚園の園児募集前には決める、と言います。

この状況を保護者は知らない、という異常さ

公立幼稚園の統廃合は、学校教育審議会 2014年答申を受けて進められていたものの、ここ2年は話がありませんでした。

6月議会で突如10月までに決定する、という日程を公表。

また同審議会で議論されていない公立保育所を、大規模改修が困難なため、一緒にして“認定こども園”にするという強引な進め方は大変疑問です。



《想定されるスケジュール》

7月26日(水)

文教福祉常任協議会開催
基本方針、幼児教育無償化案、
就学前施設統廃合案の説明。

8月～9月中旬

パブリックコメントの実施
担当者が幼稚園・保育所・
小学校区など関係者に説明

10月

統廃合方針(新配置)を決定

2018年4月

幼児教育一部無償化を実施

2020年4月

統廃合された新体制スタート
4.5歳児の無償化完全実施
就学前施設の再々編を実施

統廃合は誰のため？ 市は立ち止まるべき

市は「多数の市民が納得できる方針を打ち出したい」としています。そうであるならば、せめて幼稚園・保育所の保護者や関係者にしっかりと情報を伝えて意見交換をするべきです。スケジュールありきで進めるのではなく、「一度立ち止まる」ことを、市長へ強く要望しました。

**議会
質問**

幼児教育無償化に伴う就学前施設再編の他に、2点質問しましたので報告します。

- ①高齢者や障がいのある人に、ゴミの戸別収集をおこなう「福祉収集」について
- ②アスベスト被害から、市民の命と健康を守るため *アスベスト現況調査 *健康被害



[吹田市 Web より]

伊丹でも「福祉収集」が必要だ

ゴミを“ごみステーション”へ出すことが困難な「ひとり暮らしの高齢者や障がいのある方」に、玄関先まで戸別回収をおこなう「福祉収集」。

収集時に安否確認もできるため、近隣自治体でも広がっています。(右図参照)

市はご近所で助け合って欲しい、という姿勢ですが、ゴミは「究極の個人情報」であることや、ご近所に気をつかわれる方、人付き合いが苦手な方もおられます。

市の制度として「福祉収集」を、来年度から始めることを要望しました。

《近隣市の福祉収集》

- 宝塚「きずな収集」
- 川西「サポート収集」
- 西宮「にこやか収集」
- 神戸「ひまわり収集」
- 大阪「ふれあい収集」
- 豊中「ふれあい収集」
- 吹田「安心サポート収集」
- * 尼崎は戸別収集

2005年実施の民間建築物のアスベスト現況調査

終了するまで粘り強い調査を

2016年 第1回定例会の個人質問に対する答弁で、市は2005年に国の依頼で実施した市内民間建築物のアスベスト現況調査(対象 540件)を10年経っても終了しておらず、未回答が108件というズサンな実態が明らかになりました。

あれから1年数カ月。継続調査の現状を聞いたところ、未回答が40件まで減り、指導対象が8件とのこと。終了するまで粘り強い調査を要望しました。



アスベスト健康被害者を救済制度へつなげるサポート体制を



2013～15年度、市立伊丹病院で「中皮腫」と診断された患者数は21名おられますが、環境保全機構によると、伊丹市で石綿救済法に申請した件数は、3年間で8件に留まっており、患者や家族にとって「知識」や「手間」など申請への壁が高いことがわかりました。

そこで市立伊丹病院に対し、患者さんから救済制度について聞かれたら説明するという「受け身」のサポートではなく、アスベスト疾患と医師が診断した患者さんへ救済制度説明から申請まで、「個別に」サポートする人員の配置を要望しました。

6月議会 アレコレ

6月議会は各会派の代表質問及び15名の個人質問がおこなわれました。
その中から、気になる話題をピックアップして、ご報告します。

市役所本庁舎建替え、予定を前倒しで実施。

まだ記憶に新しい熊本地震では、宇土市、八代市などの市庁舎が損壊し、災害復興に大きな支障が出たことから、伊丹市役所本庁舎(1972年建設)の建替え議論を前倒しで始めることになりました。

再来年度までに実施設計を行い、2020年から2年間で建設予定。



損壊した宇土市庁舎

手話言語条例が伊丹でも制定されます。



手話は言語という認識に基づき、基本理念や市・事業者の責務や役割を明らかにして、手話普及の基本事項を定めた「手話言語条例」の検討に入ります。今後、聴覚障がいのある方や手話通訳者・支援者の方々の意見を取り入れ、今年度中に議会へ上程される予定。

「教育現場で教育勅語を使用する考えは全くありません」。

今年3月、安倍内閣が「教材として用いることまで否定しない」と閣議決定した“教育勅語”について教育長は、教育勅語の本質的な考え方が、先の戦争における総動員体制につながったと指摘し、「教育現場で教育勅語を使用する考えは全くありません」とキツパリ。

「あたりまえ」のことを答弁したまでだけど、その「あたりまえ」が言えない世の中にしないために。

性的少数者の相談窓口を設置する検討に入ります。



従来から要望していた「性的少数者の相談窓口」が、やっと伊丹でも実現することになりました。専用の電話とメールアドレスを設置し、当事者や家族からの相談を受ける体制を週1回、平日午後に設ける予定。今後、詳細が検討されますが、少しでも当事者の方々に寄り添ったものになるよう応援していきます。

女性・児童センターが機能移転へ検討始まる。

昨年度13万7千名の方々が利用され、長年、市民に親しまれている「女性・児童センター」。老朽化が著しく耐震性未確認のため、他の公共施設等への機能移転する予定になっています。

今年度内を目標に、“優先”して議論を始めていく、とのこと。



フォト・ダイアリー [おおつる求フログから]



[写真説明・左上から時計回り]

- * 三池炭鉱閉山 20 年展会場は温かい雰囲気。
- * 中川宝塚市長3選。クリーン市政をさらに前へ。
- * 6月から始まった中学校給食、センターを内覧。
- * 労働者の祭典「メーデー」、昆陽池公園にて。
- * 会派「フォーラム伊丹」第2回議会報告会、盛況。



伊丹トリビア

2016年1月～12月の天気は、
晴れの日と、曇りの日が……、
同じ日数だった。



晴 162 日(うち快晴 10 日)、

曇 162 日、雨 42 日

午前 9 時測定値 伊丹消防局調べ

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大 津 留 もとむ
伊丹市議会議員 **おおつる 求**

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。
 ■近畿大学法学部法律学科卒 ■国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
 ■2015年の伊丹市議会議員 選挙に社民党公認で立候補、初当選。現在1期目 ■会派「フォーラム伊丹」所属。

日々雑感

- 5月3日、朝日新聞阪神支局襲撃事件から30年。声を挙げる大切さを自分に言い聞かせる日。
- 母親愛情弁当論からの脱却。中学校給食が6月から遂に実現。アレルギー対策等が今後の課題。
- 憲法を尊重し擁護する義務を負う人が憲法改正を叫ぶフシギ。
- 幼児教育の無償化・こども医療費助成拡大・市役所本庁舎建替えて…実は伊丹、裕福だった!?!
- ベランダのゴーヤ、元気に成長。今年も緑のカーテンが完成間近。
- 共謀罪・戦争法・特定秘密保護法・マイナンバーに加え、市内千台の監視カメラ・自衛隊への個人情報提供…寒気を感じる夏の夜。
- 稲野納涼夏祭りで「炭坑節」の太鼓叩く、と手を挙げたものの、リズム感無く、悪戦苦闘の日々。
- 命名権3年225万円で契約。10月から『東リ いたみホール』。
- 国鉄分割・民営化から30年。